



発信年月日：令和4年（2022年）11月17日
所属名：高島農産普及課
番号：H22010
部門分類：230 養鶏
発信者名：北澤、永見、中井、今村

鳥インフルエンザの発生に備えて集合場所の設営演習を実施

農産普及課が主体となって企画・運営し、高島地域特定家畜伝染病防疫演習を令和4年10月20日に実施しました。当日は高島管内の各県機関や高島市役所が参加し、実際に集合場所となる会場で会場設営や、防疫作業従事者役の職員が各ブースを巡る模擬演習を行い、会場内の動線を確認しました。演習後には意見交換会を行い、得られた意見を元に防疫対応マニュアルの改善につなげることができました。

防疫演習は、万が一、高病原性鳥インフルエンザが高島管内の養鶏農家で発生した場合に迅速に対応できるよう、防疫作業従事者の集合場所となる旧広瀬小学校の体育館（高島市安曇川町下古賀）で実施しました。

演習の目的は、受け入れ態勢の立ち上げや各係の運営を実際に各担当者が経験し、作業を通じて改善点を見出すことです。職員数が少ない当地域では、県機関や市役所が一丸となって現地対策本部を運営する必要があります。当日は農業農村振興事務所はじめ、保健所、土木事務所、環境事務所、総務事務・厚生課、高島納税課、家畜保健衛生所、高島市役所など28名の職員が参加しました。参加者は4班に分かれ、班長の指示に従って会場設営を実施しました。その後、4名の職員が防疫作業従事者役になり、実際に各手続きを巡ってもらうことで会場内の動線を確認しました。

演習終了後の意見交換会では、作業従事者の動線を変更した方がよりスムーズになることが確認でき、

防疫対応マニュアルの修正につなげることができました。

今年度、当課ではマニュアルの改訂作業を行っていますが、演習で得られた改善策を取り入れることができ、かつ参加者の意識も高めることができたことから、有意義な演習であったと感じています。

今後も万が一に備え、関係機関の協力を得ながら態勢整備に努めたいと考えています。

